

令和3年度 第5回

希望郷いわてモニターアンケート

# 特殊詐欺に関する意識調査結果

令和4年2月

岩手県警察本部生活安全企画課

# 特殊詐欺に関する意識調査結果

岩手県警察本部生活安全企画課

## I アンケート調査の概要

### 1 調査の趣旨

令和2年中の、岩手県内のオレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺被害の認知件数は54件、被害額は約1億5,000万円に上ります。

岩手県警察では、特殊詐欺被害を防止するため、関係機関と連携して各種対策に取り組むとともに、多様な媒体、機会において広報啓発活動を行っているところですが、今後の取組の参考とするため、今回皆様に御意見をお伺いしたものです。

### 2 調査期間

令和3年12月21日（火）～令和4年1月7日（金）

### 3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

### 4 調査対象

令和2、3年度希望郷いわてモニター 200名

### 5 回答者数

145名

### 6 回答者属性

#### (1) 年齢

～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
5	21	23	25	36	35

#### (2) 性別

男性	女性
62	83

#### (3) 職業

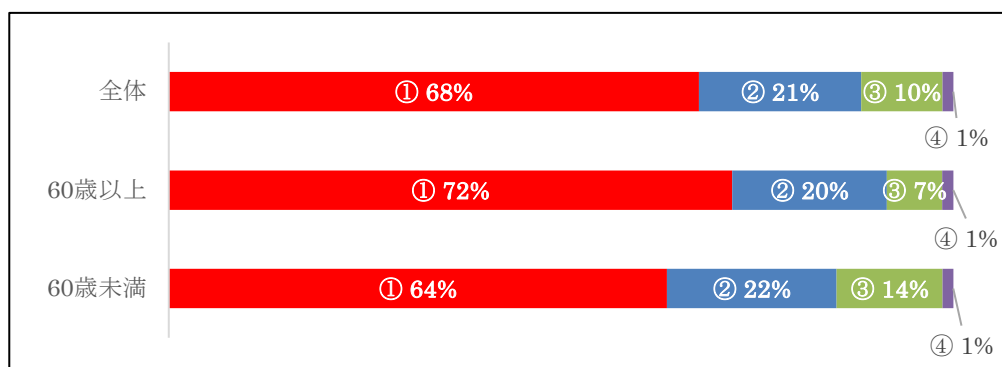
①会社経営・役員	②会社員	③団体職員	④自営業・自由業	⑤農林水産業	⑥パート・アルバイト
3	35	7	14	9	15
⑦主婦・主夫	⑧学生	⑨無職	⑩その他		
22	1	33	6		

## Ⅱ アンケート調査結果

問1 特殊詐欺に対する印象で最も近いものを1つ選んでください。

- ① 被害に遭わないようにいつも気を付けている
- ② ときどき気を付けている
- ③ ほとんど気にかけることはない
- ④ 全く意識することはない

	①	②	③	④
全体	98	30	15	2
60歳以上	51	14	5	1
60歳未満	47	16	10	1



問2 問1で「③ほとんど気にかけることはない」又は「④全く意識することはない」と回答した方に伺います。

そのような印象を持っているのはなぜですか（なぜだと思えますか）。当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① だまされない自信があるから
- ② 自分には関係ない（だまされる機会がない）と思っているから
- ③ 詐欺の手口を詳しく知っているから
- ④ 困りごとがあった際にいつも誰かに相談するから
- ⑤ 特に理由はない
- ⑥ その他

①	②	③	④	⑤	⑥
8	9	3	6	3	1

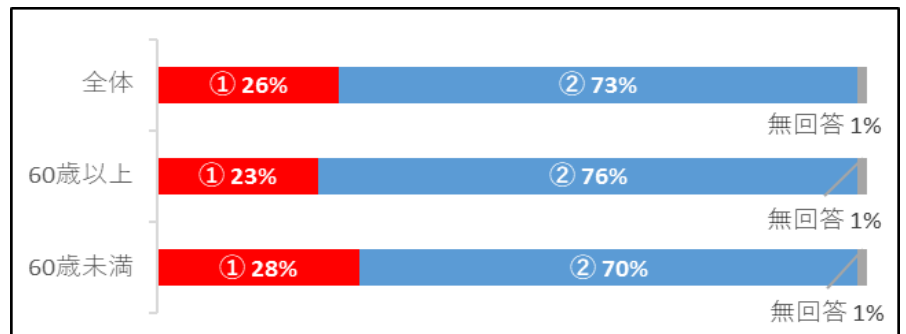
### 【⑥その他の内容】

・生活の中であまり意識しない。

問3 自分又は家族・知人が特殊詐欺の被害に遭った又は遭いそうになったことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 経験がある（「特殊詐欺」か判断がつかない金銭、権利等に係る第三者とのトラブルも含む。）
- ② 経験がない

	①	②	無回答
全体	37	106	2
60歳以上	16	54	1
60歳未満	21	52	1



問4 問3で「①経験がある」と回答した方は、被害やトラブルの内容を御記入ください。

- ・母が還付金詐欺の被害に遭いそうになり、銀行員に止められた。
- ・「電話の料金が安くなる」という電話がかかってきて、パソコンを開くように指示され、言われるがまま何度か「はい」をクリックしていたら申込み画面だった。注意書きがあったので、読もうとしたら、「読まずに『×』で消して下さい」とせかすように言われた。契約の意思がないことを伝え、電話を切ったので被害には遭わなかったが、2、3か月、不安な気持ちで過ごした。
- ・身に覚えのない裁判所からお便りが届いた。
- ・高齢の両親から、家族あてに身に覚えのない借入金の支払い請求の葉書や、スマホに届いた変なメッセージについて相談を受けた。「一切応じないこと！」と話して、事なきを得た。
- ・携帯電話プランの変更を申し出たわけではないのに、今と同じ料金でお得なプランに変更できるという電話が来た。
- ・購入していない物の代金支払い通知を受け取った知人が、家族に相談したことで被害に遭わずに済んだという話を聞いた。
- ・知人宅に夜中、孫を名乗る者から、「事故にあった」と電話があった。孫が在宅していたため、おかしいと思い家族に相談し、被害に遭わずに済んだ。その後、警察に報告したと聞いた。
- ・息子と名乗るオレオレ詐欺
- ・関東地方に住んでいる実家のあたりではオレオレ詐欺はよくあるが、今住んでいる久慈市では聞いたことはない。
- ・アダルトサイトにアクセスして高額な料金請求が来たと聞いた。（一関市在住）
- ・深夜、奥州市の飲食店で上着に入っていたサイフのクレジットカード情報をスキミングされ、翌日県外で使用された。

(つづき)

- ・架空料金請求詐欺。「何の連絡だろう」と思って連絡したら請求された。警察に相談したら「放っておくように」と言われ、解決した。
- ・スマートフォンに支払いを要求する内容のメールがきた。
- ・身に覚えのない請求がメールで届き、間違って連絡してしまった。たまたま電話がつながらなかったため、被害はなかった。
- ・ショートメールで、友人と誤ってうっかりやりとりしてしまったところ、相手方から金銭を要求されたことがあった。
- ・新型コロナウイルスの予防接種をWebで予約しようとした際、メールで「予防接種の案内」という知らせがあり、フォーマットに個人情報を入力したところ、クレジットカードの情報を入る表示が出たため、詐欺と気付いた。
- ・ネットで購入したが、商品が送られて来ない。

問5 万が一、特殊詐欺の被害に遭ってしまった場合の対応について伺います。

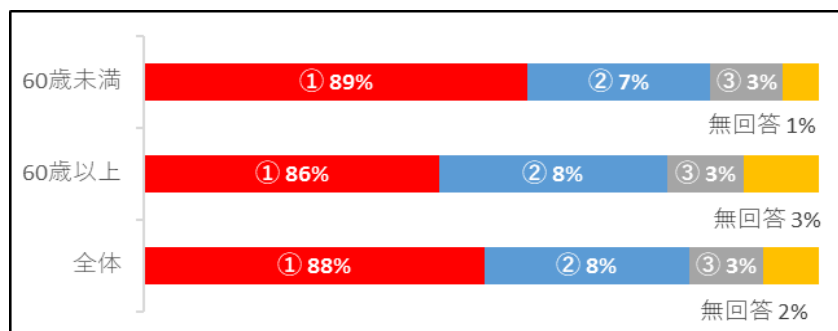
(1) 警察への相談や被害の届出<sup>\*</sup>をしますか。当てはまるものを1つ選んでください。

【被害の届出（被害届の提出）とは】

被害を申告し、犯人の処罰意思を示すもの。事後捜査（聴取、関係書類の提出等）に御協力いただき、犯人が起訴された場合は、公判出廷を求められる可能性もあります。

- ① 被害届を提出する
- ② 警察に相談するが、被害届は提出しない
- ③ 警察には相談しない

	①	②	③	無回答
全体	127	11	4	3
60歳以上	61	6	2	2
60歳未満	66	5	2	1



(2) (1)で「②警察に相談するが、被害届は提出しない」又は「③警察には相談しない」を選んだ方に伺います。

その理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① だまされたことが恥ずかしいから
- ② 大ごとにして家族、知人などに知られたくないから
- ③ 精神的負担があるから
- ④ 捜査協力による時間的負担があるから
- ⑤ 犯人検挙の可能性が低いと思うから
- ⑥ 警察に協力したくないから
- ⑦ その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
6	3	6	6	3	0	6

【⑦その他の内容】

- ・ どうせ解決しないから。
- ・ 被害届の出し方が分からないから。(同意見あり)

問6 特殊詐欺被害の多くが、自宅固定電話機への犯人からの連絡をきっかけとする被害であることから、警察では犯人からの電話に出ないための対策として、ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話機※の設置を呼び掛けています。

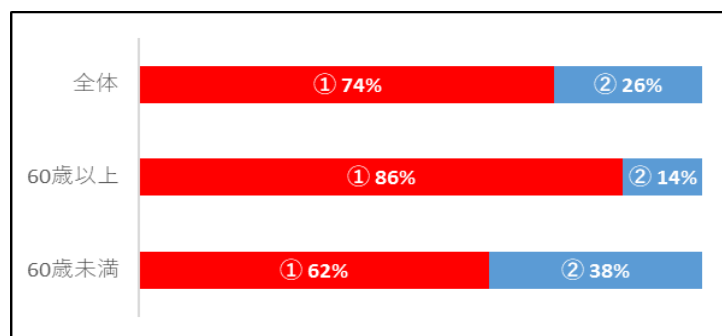
【防犯機能付き電話機】

番号非通知電話や登録番号以外の電話番号の着信拒否設定、自動録音機能、相手方への警告メッセージ（「この電話は録音しています。」など）の機能がある電話機。

(1) 自宅に固定電話機を設置していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある
- ② ない

	①	②
全体	107	38
60歳以上	61	10
60歳未満	46	28



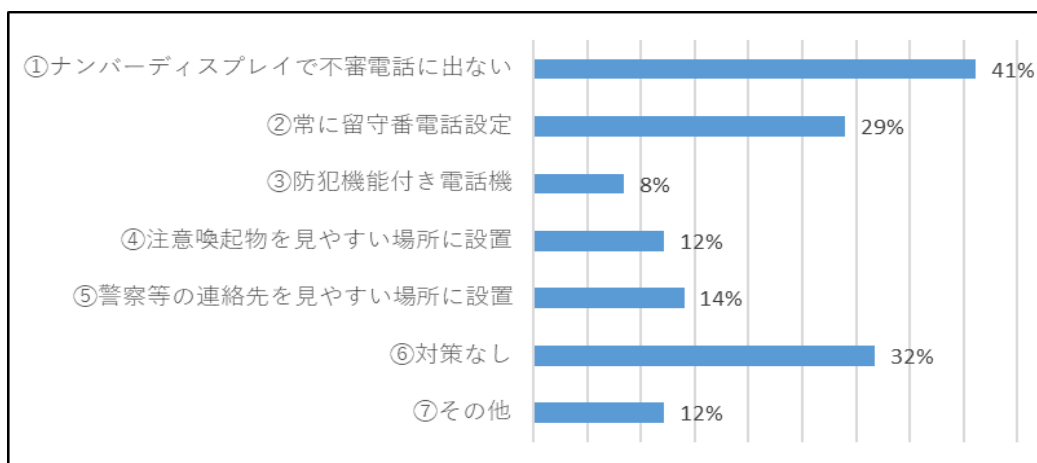
(2) (1)で「①ある」と回答した方に伺います。

設置している電話機の機能や普段行っている防犯対策について、当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① ナンバーディスプレイで不審な電話番号には出ないようにしている
- ② 常に留守番電話に設定して相手を確認してから電話に出ている

- ③ 防犯機能付き電話機を設置している
- ④ 電話機付近の見やすい場所に、警察官や関係団体が配布されたチラシやカードなどの注意喚起物を設置（貼付）している
- ⑤ 電話機付近の見やすい場所に、最寄りの警察（警察署、交番・駐在所）や消費生活センターなど、困ったときの連絡先のメモを設置（貼付）している
- ⑥ 特に対策をとっていない
- ⑦ その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
44	31	9	13	15	34	13



※(1)で①を選択した107名を100%とする割合。

**【⑦その他の内容】**

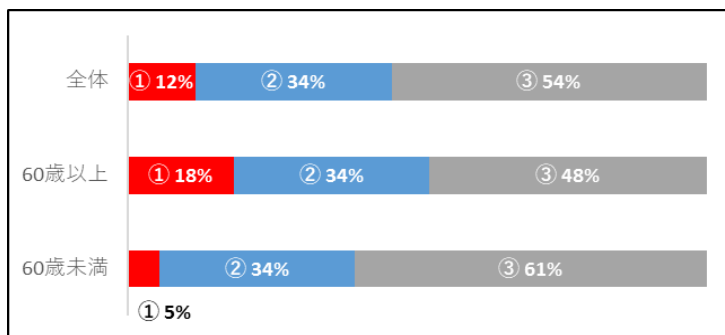
- ・非通知電話を着信拒否設定にしている。
- ・いたずら電話（無言）勧誘電話が多いため、ほとんど出ない。
- ・名前を言わない。

問7 警察庁では、俳優（歌手）の杉良太郎氏を中心とした、プロジェクトチーム「ストップ・オレオレ詐欺47（通称：SOS47）」を結成し、イベント出演、ポスター・動画の制作等による広報啓発を行っています。

SOS47の存在、活動内容を知っていますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① チームの存在、活動内容を知っている
- ② チームの存在は知っているが、活動内容は知らない
- ③ 知らない

	①	②	③
全体	17	49	79
60歳以上	13	24	34
60歳未満	4	25	45

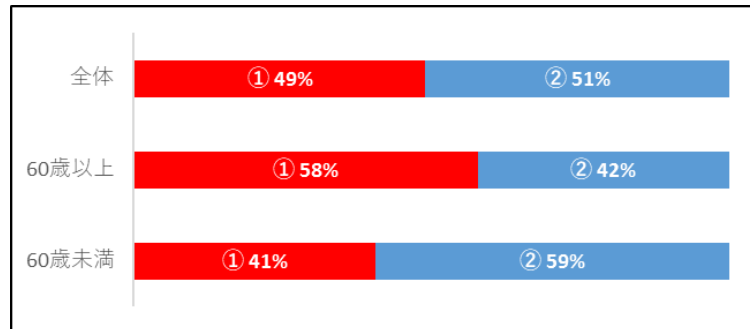


問8 岩手県警察では、高齢者を中心とした幅広い世代に「詐欺に気づく力」を身につけていただくため、令和3年6月から、元プロボクシング世界王者の八重樫東氏（本県出身）を起用した特殊詐欺被害防止テレビCMを放送（IBC岩手放送、テレビ岩手）しています。

(1) 本アンケート前、前記テレビCMを見たことはありましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある
- ② 見たことはない

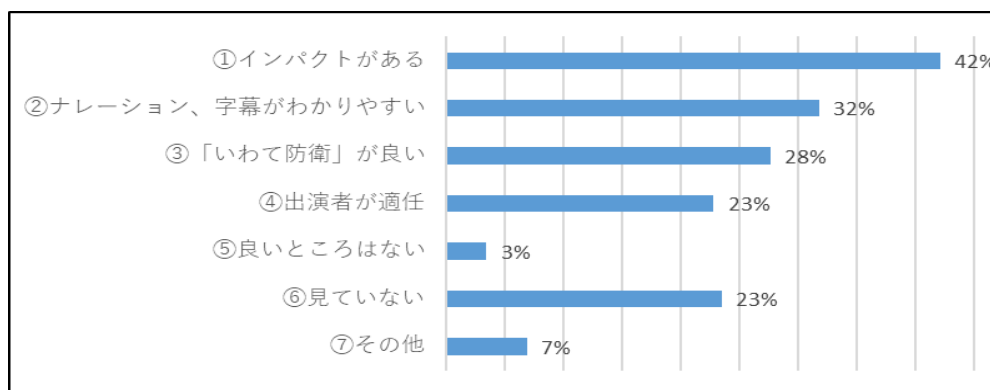
	①	②
全体	71	74
60歳以上	41	30
60歳未満	30	44



(2) 前記テレビCMに対する印象で当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① インパクトがある
- ② 説明（ナレーション、字幕）がわかりやすい
- ③ キャッチフレーズ（「いわて防衛」）が良い
- ④ 出演者が適任である
- ⑤ 良いところはない
- ⑥ 見ていない（視聴環境がない）のでわからない
- ⑦ その他

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
61	46	40	33	5	34	10



※本アンケート回答者 145 名を 100%とする割合。

**【⑦その他の内容】**

- ・最近見ていないので忘れていた。
- ・インパクトがあるCMだが、特殊詐欺のターゲットになりやすいお年寄りには何のCMかわからない。伝わりにくいのではないかとも思う。
- ・何曜日の何時に放映されているか教えてほしい。



問9 今後、特殊詐欺被害をなくすために、岩手県警察にはどのような対策、広報が求められると思いますか。御意見・御要望を御自由にお書きください。

- ・特殊詐欺に加担した者は重罪に！！死刑やむなし！！年寄りを騙すなんてかわいそう。
- ・普段から、家族と連絡を取り合うことが必要。詐欺に遭う状況、手口を見抜く方法をいろいろな場で知らせる。
- ・交通安全教育同様、学校現場での活動もありかと思う。そのような悪いことをすれば、人生どうなるかまで教えておくことも必要。
- ・講習会や講演会や実演等。
- ・気軽に相談できるようにする。町内での老人クラブの集まりに出むき、お話ししたりする。
- ・ポスターを貼る。「他人ごと こんどは自分」。
- ・身内の名前が年寄りには一番弱点。そのようなことを何かの機会に細やかに説明してほしい。年寄りが増えていく中、年金生活者はお金が戻るという言葉に特に弱い。
- ・具体的な事例をあらゆるメディアを使ってどんどん発信すると良い。
- ・広報無線で「ただいま、このような手口が・・・」と放送してくれるので助かる。
- ・年齢が高い方の情報入手は、紙媒体のような気がする。岩手日報を購読していない方向けにも、地元新聞で地域の詐欺事案を記載した方が良いと思う。
- ・結局、詐欺被害は無くならない。被害に遭った後にどうすれば良いかを詳しく知りたい。
- ・金融機関やスーパー、コンビニのほか、高齢者宅が利用している生協や新聞等の配達事業者に対しても詐欺被害の防止に向けた協力を依頼し、配達の都度、一言声を掛けてもらう（声掛け運動）などの活動も良いのではないかな。
- ・高齢化や独居世帯が多く、孤独死が散見され始めているものと思うため、町内会でも見守り活動に加えて「声掛け運動」もして良いのではないかな。
- ・高齢者宅（特に独居）に警察官（駐在）、民生委員が定期的に訪問して、特殊詐欺等について注意喚起する。
- ・高齢者は電話機に非通知着信拒否などの機能があっても使っていないことが多いので、そのような機能があることを広報した方が良いと思う。
- ・固定電話機はすでに解約しているが、利用していたときはナンバーディスプレイの契約で電話番号の確認をしていた。現在はスマホの電話帳が便利で使用している。
- ・警察の特殊詐欺防止広報のCMは民放では見るが、NHKでも協力していただき放送しても良いのではないかな。
- ・老人クラブなどで、詐欺被害に遭わないように勉強会などがあれば良いと思う。1年に1回でなく年に数回。
- ・テレビ、新聞での情報発信では高齢者が情報を受け取れないため、今後は家庭訪問が必要。
- ・似た環境にある方が受けた被害を自分に置き替え用心しようと思えるように意識を変えることが必要。家族の話は聞かないが、警察官の話なら聞いてくれると思うので、何度も繰り返し伝えてくれると、伝わるかもしれない。

(つづき)

- ・老人が集まる会合などで劇などをして理解を求める。大人だけでなく子どもたちも役者になればよいと思う。
- ・実際に起きた詐欺の手口を動画でドラマ化にして広報する。そのDVDを各市町村に配布し、老人クラブなどに貸し出す。
- ・駐在所の広報誌なども活用して、様々な被害例を紹介し、気を付けなければいけないことをもっと知らせてほしい。
- ・仕事上、自分自身は特殊詐欺には常日頃から気を付けているが、「自分は大丈夫」とまだまだ他人事と思っている方が多いように感じる。警察が頑張っても個人の意識が変わらないと被害防止にならない。100%防ぐことは難しいと思うが、1人でも多くの被害者を出さないために具体的な事例などを挙げて広報し、困ったときや悩んだときに身近に相談できる窓口を設けるなどして県民に寄り添う形が見えれば良い。
- ・ぴかぼメールを活用しており、具体的に被害の内容が分かるので気を付けようと思うが、LINEなどの通知だと、より登録者が増えるのではないかと思う。高齢者はメールやLINEは出来ないかもしれないので、ラジオなどでも具体的被害をさらに周知してほしい。
- ・コミュニティFMや市町村防災行政無線などを活用して定期的に放送（広報）を行うこと。
- ・テレビや新聞、チラシを配る等していると思うので、思い浮かばない。
- ・地域の高齢者などと交番勤務員が相談しやすいような関係を築いておく。
- ・被害事例を具体的にわかるようにしてほしい。八重樫さん以外にも岩手出身の方を起用してほしい。
- ・高齢者が映像を見る機会が増えると良い。
- ・広報等で呼びかける（回覧等で）家族にも呼びかけてもらうことをお願いする。
- ・新たな詐欺事件があったときは、スピーカーなどの放送で呼び掛けをしてほしい。
- ・地域の交番にもう少し身近にいてほしい。
- ・学生を対象とした特別講話等の学習の場をつくる。学生から家族へ共有することで詐欺被害への意識が高まる。
- ・テレビ番組等で特殊詐欺の事例などをより多く放送して広く告知してほしい。
- ・特殊詐欺のCMの内容は、他のテレビ番組でも知ることができると思う。「詐欺と思うようなことがあったときはまずはここへ連絡！！」ということ、高齢者に広く伝わるような呼び掛けをすることが大切かと思う。
- ・厳しい取り締まりと重い罰が必要。
- ・各集会で啓蒙活動を行ってください。
- ・交番における訪問（啓発も）を多くし、相談しやすい環境、雰囲気を作ってほしい。
- ・定期的に訪問してパンフレットを配布。
- ・被害の例を細かく知りたい。
- ・年齢を問わず怖い世の中だと思う。スマホでも気を付けたい。

(つづき)

- ・プライバシーに配慮され、電話やメールで気軽に相談できる窓口（24h）が必要。
- ・令和2年中の県内被害が54件、被害額1億5000万円であったことに驚き、恐ろしく思った。広報啓発活動として自治会集会行事に短時間取り入れてもらうことで、少しずつ認知され、被害防止につながるのではないかと。
- ・相談窓口の充実（実際電話がかかってきた場合の対応方法の講習）。
- ・自己責任だと思う。手口が悪質になっているとは思いますが、それほど良い話だったら他人に紹介しないで自分でするのは…。うまい話、良い話には注意するべきだと思う。
- ・私の町内には、駅前交番の方が年に一回巡回に来る。回数を増やすと日頃相談や聞いてみたいことを気軽に話せるのではないかと。
- ・もう少しチラシを掲示する（学校やマンション・デパート等、目につくような所）。
- ・高齢者が集まる場所での広報活動、注意喚起を継続的に行うことが必要。
- ・YouTubeを使ったPR活動
- ・特殊詐欺は固定電話以外にも、携帯電話のメールで来ることもある。知らない相手の場合、対応せず削除することも広報する。私にもメールが来たが削除した。
- ・被害事例を紹介する。
- ・地区ごとに警察の方が講師に来て、特殊詐欺に遭わないための講演をしていただきたい。
- ・携帯での通話がほとんどで、固定電話にかかってきた電話にはほとんど出ない。ほとんどが営業の電話や、たいした内容の電話ではないため。
- ・相談しやすい場所をつくる。
- ・幼稚園ぐらいの子供でも分かるような広報にすれば、必然と高齢の方にもわかりやすくなると思う。
- ・今は非常事態だと思います。高齢者世帯（独居を含む）への訪問説明周知が必要で待ったなし。難しいなどとは言ってはいただけないと思う。
- ・いろいろな世代にわかりやすく、インパクトがあるものが良い。
- ・TVやラジオで注意喚起をすることで、視聴している犯罪者が思いとどまるような内容を期待する。（例：あなたがやるとあなたの親・おじいちゃん・おばあちゃん・おいつこ・めいつこが不幸になる、という主旨のコマーシャル）
- ・テレビなどのやっける感だけのイメージだけに頼らず、警察官が地域を巡回して対面で広報すべき。
- ・体験した方のインタビューを使う。もちろん岩手訛り。
- ・注意喚起する貼り紙の配布。それを電話機の近くや玄関に貼ってもらう。
- ・町内会の回覧板やパンフレットの配布、ポスターなど
- ・被害に遭ったとしても被害届を出さない人もいると思う。届け出しやすくする環境が必要だ。被害をなくすためには地域と警察の関わりが必要だ。特に高齢者の多い地域は安心して生活できるよう住民を気にかけていただきたい。

(つづき)

- ・町内会の会合などで直接注意喚起をするのが効果的。特に高齢者には、テレビや新聞よりも直接話をしたほうが響くと思うし、身近な人と特殊詐欺の話をするきっかけにもなると思う。
- ・市町村の広報に4コマ漫画を掲載したり、わかりやすいチラシを折り込む。
- ・警察というのはどうしても関わりたくない存在なので、まずは、それを改善すべき。高齢者の家を駐在所のおまわりさんが、月1回程度訪問して特殊詐欺防止の話をしてほしい。全戸ではなく高齢者宅なのでそんな軒数は多くないのではないか。高齢者には、広報やネットを見てというのは無理だ。
- ・以前ストーカーにあって警察に相談したことがあったが、民事だからと言われてあまり聞いてもらえなかった。相談しやすいことが必要。
- ・地道な声掛けしかないと思う。人を思い、気に掛けること。
- ・検挙して見せつける。
- ・特殊詐欺の手口は、知っていても高齢者の場合は詐欺に遭う可能性が高いと思う。銀行やコンビニでの高齢者への声掛けが必要です。
- ・日頃より警察署(署員)が相談しやすいところであってほしい。私はいつでも相談できる。
- ・先日、管轄の交番の方が巡回訪問に来た。私としては、こうした活動は大変有難く、年一度とは言わずにもっと行ってほしいと思う。独居老人宅は戸別訪問を増やし、特殊詐欺への注意を促していただければと思う。「余計なお世話」は、犯罪被害を未然に防ぐには必要かと思う。
- ・特殊詐欺加害者を減らしていく。
- ・地域、お年寄りなどへの声掛け、大金を手を持つ人への声掛け、不審な人・見かけな人は要注意。田舎ほど目立つと思うので、地域住民たちの連携が重要。
- ・子供からお年寄りまで、目につく場所に、ポスターや広告などを貼布、配布する。テレビ・ラジオも朝から晩まで流さないと、まだわからない人もいる。変だなあと思ったら、すぐに相談しやすい環境づくりが大切。
- ・犯罪は、都道府県をまたぐものもあるので、各県の警察の対応、広報には限界がある。
- ・防犯隊活動など地域防犯活動に力を入れる。チラシ広報活動。
- ・高齢者が引っかけやすいと思うのでラジオや新聞のほか、民生委員や包括支援センターなどが訪問する際にチラシ配布して啓発する。
- ・今以上に啓発啓蒙が必要。
- ・家族、近くの友達、どのようなことでも話せる仲間、行政連絡員、民政委員などと協力しよう。
- ・良い情報を待っています。良い商品を提供してほしいです。
- ・テレビ、ラジオに出演して防止活動をする。
- ・各公園にポスターを掲示する。
- ・新しい手口をいち早く公開し注意を促す。

(つづき)

- ・警察が自治体と連携し、詐欺被害訓練のようなものをしてはどうか。「自分は大丈夫」という高齢者が身近に感じられる訓練が必要。
- ・本当にあった被害の内容を詳しく紹介したり、必ず家族に相談するようにするなどの対策を促す。
- ・詐欺グループに、一般市民の銀行通帳がいつの間にか使われるということもあるのか？お年寄りでなく、若年層でも被害にあった例もあるのか？様々な事例を知って、備えたい。
- ・「自分が被害に遭う事はないだろう」と思っている人が多いと思うので、もう少し被害に合うかもしれない可能性を身近に感じてもらえるように、いざ被害に遭ってしまった時に適切な対応を取れるように広報活動してほしい。
- ・逆探知能力の向上。
- ・老人クラブやいきいきサロンなどでの寸劇で手口の広報（地域で）。
- ・ラジオ、テレビ、ネットなどを利用し、より多く情報を発信してほしい。（県、市町村広報もより分かりやすく。）
- ・本人の自覚。家族の見守り。
- ・テレビなどでうるさいぐらいCMを流す。年寄りには詐欺と言ってもわからないようだから、「ダマサレル」などの大きな字が良いと思う。
- ・問5について分からない。
- ・詐欺で凍結された口座リストのようなものがすぐ分かるように、ホームページで見ることが出来たら良い。おかしいなと思ったときに確認ができる。
- ・詐欺手口事例を公表し、再被害を未然に防止するよう周知徹底をしていただきたい。